



XML Consortium

【XMLコンソーシアムWeek 道路交通情報Webサービス実証実験Day】

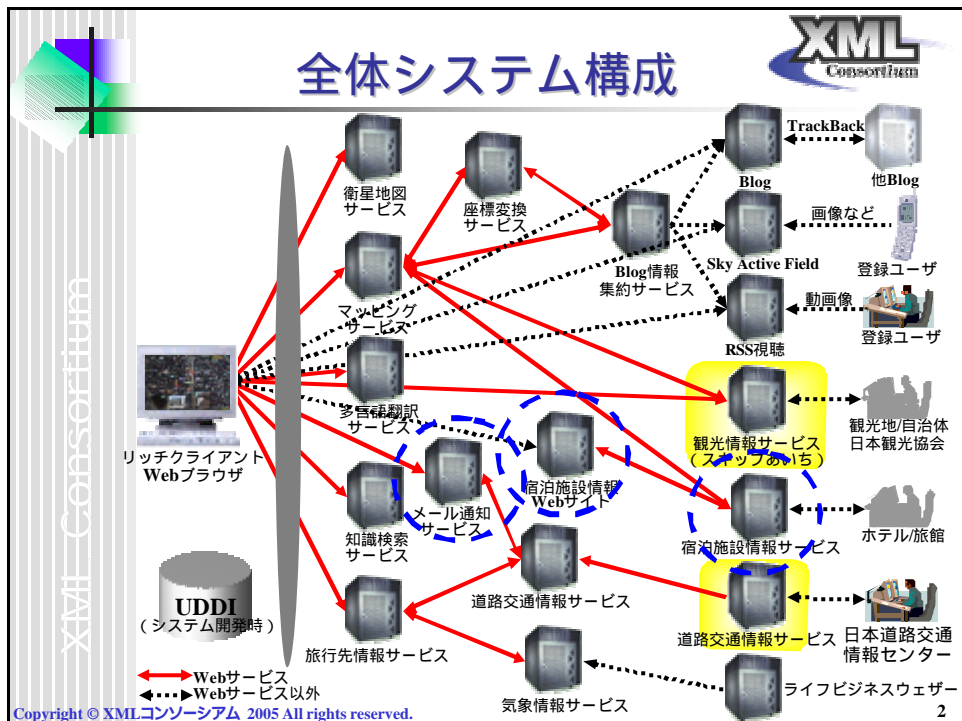
宿泊施設情報Webサービス メール通知Webサービス


2005年 6月10日

長谷川 順一


(株式会社ブレインワークス)

Copyright © XMLコンソーシアム 2005 All rights reserved.





システム概要 (開発、本番環境)



	開発環境	稼働環境
OS	WindowsXP	FedoraCore2
開発言語	Java2 SDK 1.4.2_4	Java2 SDK 1.4.2_4
Webサーバ	-	Apache2.0
アプリケーションサーバ	Tomcat4.1.24	Tomcat4.1.24
Webサービス	Axis1.2R3	Axis1.2R3
データベース	MySQL 4.0.18	MySQL 4.1
メールサーバ	-	Postfix 2.0.18

・Webサービスには当時最新のAxis1.2R3を使用


開発環境ではWindowsXPを使用し、本番環境ではFedoraCore2にて稼動

・Javaの開発環境はEclipse3.0を使用


・宿泊施設情報はリッチクライアントであるFlashを採用し、開発環境はMacromedia Flash MX 2004を使用

Copyright © XMLコンソーシアム 2005 All rights reserved.

3



システム概要 (宿泊施設情報Webサービス)

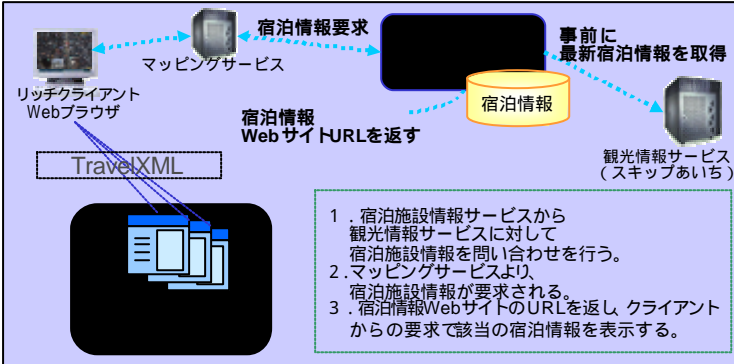


機能概要

スキップあいちのサービスから情報取得を行い、マッピングサービスからの要求にあった宿泊施設情報を提供する

特徴

(社)日本旅行業協会とXMLコンソーシアムが共同で開発を進めている旅行業界における旅行商品取引の標準規格TravelXMLに準拠



The diagram illustrates the system architecture and data flow. A 'Rich Client Web Browser' (リッチクライアント Webブラウザ) interacts with a 'Mapping Service' (マッピングサービス) and a 'TravelXML' database. The 'Mapping Service' sends a 'Request for Accommodation Information' (宿泊情報要求) to the 'TravelXML' database. The database returns the 'Accommodation Information Web Site URL' (宿泊情報 WebサイトURLを返す). The 'Rich Client Web Browser' then requests 'Accommodation Information' (宿泊情報) from the 'TravelXML' database. The database returns the 'Accommodation Information' (宿泊情報) to the 'Rich Client Web Browser'. The 'Rich Client Web Browser' also interacts with a 'Tourism Information Service (Skip Aichi)' (観光情報サービス (スキップあいち)).

1. 宿泊施設情報サービスから観光情報サービスに対して宿泊施設情報を問い合わせを行う。
2. マッピングサービスより、宿泊施設情報が要求される。
3. 宿泊情報WebサイトのURLを返し、クライアントからの要求で該当の宿泊情報を表示する。

Copyright © XMLコンソーシアム 2005 All rights reserved.

4

システム概要 (宿泊施設情報 Webサービス)



宿泊施設情報Webサイト



宿泊情報 Webサービス

近距離宿泊情報 Webサービス



宿泊情報 Webサイト



- ・クライアント (FLASH) より直接Webサービス呼び出す
- ・近距離に存在する宿泊施設情報を検索できるWebサービスも提供
- ・宿泊施設情報にはTravelXMLの宿泊施設編の基本情報を使用

システム概要 (メール通知サービス)

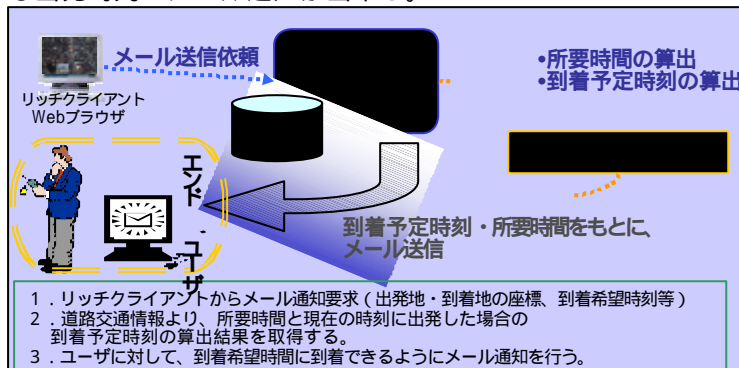


機能概要

道路交通情報サービスと連携し、所要時間の計算を行い、出発時刻の通知を行う。

特徴

リアルタイムで更新される道路交通情報を元にして、より正確な出発時刻のメール通知が出来る。





苦労した点

- Axis1.2を使用した、Axis1.1と挙動が違い接続テスト時に時間がかかった
(WSDLの解釈、再デプロイするとクライアントの挙動が変わる)
正式リリース版ではなかったので、事前に調査すべきであった

まとめ

- FLASHによるWebサービスクライアントを初めて実装したが、
リッチクライアントとしての利用価値を認識できた
- 他のシステムとの連携は以前までの実証実験と比較するとスムーズに行う事ができた
Webサービス自体が標準的な技術として定着してきている